



地方創生政策体験学習とは？



本講義は自治体の「地方創生事業」について、

① 事前学習、② 体験学習、③ 事後学習の3つの学習活動から学びます。



① 事前学習

地方創生の背景や事業仕分け、評価手法について担当教員が講義をします。また、鳥取大学と連携協定を結んでいる自治体の職員がそれぞれの地方創生事業について説明します。



② 体験学習

実際に自治体の現場に入り、自治体の職員と議論したり、事業の関係者にヒアリングをしたりしながら、事業に対する情報を収集し、分析・評価を行います。現場活動は3～5日間実施します。



③ 事後学習

現場で学んだ政策について「模擬事業仕分け」を行います。模擬事業仕分けの結果も踏まえ、自治体に対して新たな事業の提案を行います。

自治体参加者の感想

- 学生と毎日一緒に過ごし、さまざまな話ができただことは大変良かった。
- 学生の聞き取り調査のなかで、地域の人から事業に関する率直な意見を聞くことができた。
- 学生の事業仕分けは事業の振り返りに役立った。
- 事業仕分けでは事業に対する鋭い指摘があり参考になった。
- 過密なスケジュールのなかで、事業仕分け資料や自治体への提案をまとめたことに感心した。
- 発表会での自治体に対する提案には、具体的なものや我々の発想にない面白いものもあり驚いた。良い刺激になった。
- これからもいろいろなアイデアを提案してほしい。

学生参加者の感想

- 町の魅力を知るとともに、住民が町にとっても愛着を持っていることがよくわかった。
- 地域と接してみても人と人のつながりがとても大切だと感じた。
- 地方公務員が住民や事業者からさまざまな意見を集めようとする真摯な姿勢が伝わった。
- 公平性、効率性、予算など反映して事業を計画することには、さまざまなハードルがあると思った。
- 相手に分かりやすく質問や意見を述べることはとても難しく力不足を感じた。今後も努力したい。
- 他の学生の発表や意見を聞いて刺激を受けた。
- ハードなスケジュールであったが達成感も大きかった。



地方創生事業を公務員と学生で一緒に見直そう



地方創生政策体験学習

インターンシップ体験型学習



自治体の方へ /
こんなメリットがあります

学生の方へ /
こんなことができます

地域住民と学生の交流の場が生まれる！

地方創生について公務員から直接学べる！

学生の聞き取り調査を通して、住民や事業者から意見を聞くことができる！

地方創生事業に関する施設や取り組みを実際に見ることができる！

学生が事業の成果、効率、公平性、課題などを評価するため、新しい視点で事業を振り返ることができる！

地域の実態について公務員、住民、事業者から話を聞ける！

他の自治体の取り組みを知ることができる！

事業を説明し、受講生や教員と議論できる！

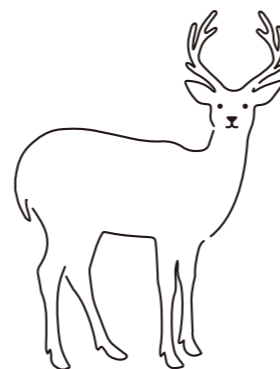
授業の後に、学生が継続的に地域に関わることもある！

自分たちのアイデアを自治体へ提案できる！

例) 地域行事への参加 (大山町)
事業レビューへ学生評価委員として参加 (琴浦町)
住民ワークショップへの参加 (琴浦町)

この授業で身に着く能力

質問をする力 / 情報を整理する力 / 物事を客観的に見て分析する力 / 事業をわかりやすく説明する力 / 人前で発言・発表を行う力 / 新しい方法を考える力 / 事業を提案する力 / プレゼン資料を作る力 など多数 (学生へのアンケート結果より)





自治体の方へ

過去の参加自治体 (2016年~2020年)

八頭町、智頭町、北栄町、琴浦町、大山町、南部町、日南町

- 今期に取り上げるテーマや地方創生事業を検討し、役場の担当課と調整します。
- テーマには、農業、産業、移住、観光、まちづくりなどがあります。

- 体験学習のスケジュール(期間、場所、実施内容)を決めます。
- ヒアリング先の事業者、住民と調整をします。
- 事業名と案内文を作成します。

- 学生に対し体験学習中の活動内容を説明します。

- 3~5日間の体験学習を実施します。
- 地方創生事業の説明、住民や事業者へのヒアリングの引率、町内の案内をします。

- 学生の模擬事業仕分けを見てコメントします。

- 学生の発表会を見てコメントします。

授業の流れ

4月~5月

① テーマの検討

Theme?

6月

② 実施計画書の作成
事業名と案内文の作成

7月

③ 受講生の募集開始

受講生募集!

7月末

④ オリエンテーション

8月初旬

⑤ 地方創生に関する講義
体験学習説明会

8月中旬~
9月中旬

⑥ 体験学習

9月下旬

⑦ 模擬事業仕分け

9月下旬

⑧ 発表会

学生の方へ

- 地域価値創造研究教育機構のHPで参加自治体や事業テーマを確認します。
- 履修登録の期間内に学務支援システムから履修登録をします。

- 参加する自治体を決めます。

- 地方創生と政策評価を学びます。

- 3~5日間の体験学習に参加します。

- 地方創生事業について、自治体の職員、住民、事業者に対してヒアリングをします。
- 模擬事業仕分けシートを作成します。

- 事業担当者、仕分け人、司会に分かれ模擬事業仕分けを行います。
- 参加した自治体の事業担当者になって、事業を説明します。
- 仕分け人になって、他の自治体の事業を評価します。

- 模擬事業仕分けで受けた指摘に対する回答や体験学習の内容についてプレゼンテーションをします。